

教師を志す方へ……

現場が求める実践力、 あなたにありますか？



福井大学教職大学院なら
学校でのインターンシップを週3日行い
実践力を培えます

「教職大学院で過ごした2年間は「教師としての自己を確立するプロセス」だったと表現できる。そして、その確立するプロセスには、子どもの存在が欠かせなかった」(平成24年度修了生)

＜福井大学教職大学院 4つのポイント＞

- その1 教師としての**信念と自信**を持って教壇に立てるようになります
- その2 福井大学教職大学院**独自の奨学金と学習経済支援**があります
- その3 **教員採用試験対策**を全面バックアップします
- その4 小学校教員免許取得プログラムで**新たに免許を取得**できます

➔ 詳細はホームページへ <http://www.f-edu.net/>

「考え方が大きく変わった。いや、考え方が変わったというよりは、考え方が増えたといった方が正しいのかもしれない。決して前の自分を消し去るのではなく、新しい自分を取り込んでいくのである。」
(平成25年度修了生)

教師として生涯学び続ける
仲間に出会えます



厚生労働省の「専門実践教育訓練指定講座」の認定を受けています！

「教育訓練給付金」制度とは、一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)、または一般被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額(上限あり)をハローワークから支給する制度です。教職専門性開発コースは平成28年4月1日より「専門実践教育訓練指定講座」の認定を受けています。

教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の詳細についてはこちら↓

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/shokugyounouryoku/career_formation/kyouiku/

◆実践力を培える1週間◆

* 週3日 *

希望する校種でのインターンシップで教師の仕事の総体を学びます。4月の学級開きから1年間、参観や授業実践に取り組み、アクティブ・ラーニングやディープ・ラーニング等の「新たな学び」を実現できる実践的授業力を培えます。

* 毎週木曜日 *

大学でインターンシップの振り返りを行うとともに、授業作りや教育改革に関する多様な資料を検討して視野を広げます。

* 土曜日(月1回) *

現職教員院生と合同で学びを振り返るカンファレンスで多様な現場の実態を知り、ネットワークを作れます。

◆充実した学習経済支援◆

* 奨学金 *

学生支援機構の奨学金では、大学院の場合、家計収入は本人の収入で審査され、第1種(無利息)なら月5万円又は8.8万円の貸与ができます。

* 教職大学院独自の奨学金 *

「福井大学基金」により、福井大学教職大学院入学者のための奨学金が用意されており、第1種(入学金・授業料全額相当)・第2種(2年間で40万円)の返還不要の奨学金を受けることができます。

* スタディ・ワーク *

ティーチング・アシスタント等の仕事に継続的に従事することができます。

自信や信念のないまま教壇に立つよりも
実践的に学び、教師としての本質的な力をつけてから
現場に出ませんか？

経済的に心配？・・・それを支援する制度も充実しています！！

◆採用試験にも強い◆

* 1次免除推薦枠 *

教職大学院修了生については、教員採用試験一次免除推薦枠があります(神奈川県・横浜市・京都府など)。

* 福井県でも *

大学4年時で福井県教員採用試験1次免除者は教職大学院2年時受験でも1次免除対象になります。
採用内定者を大学院修了後に特別選考する制度もあります。

* 試験対策も全面バックアップ *

実践センター主催の勉強会のほかにも独自の面接練習・小論文対策が行われ、教職大学院設置以降、修了者のほとんどが教員として正規採用されています。

◆免許取得できます◆

* 小学校免許取得特別プログラム *

中学校や高等学校等の教員免許を持っている場合、2年分の学費で3年間かけて新たに小学校免許を取得できます。

* 全く新しいカリキュラム *

1年間にわたる拠点校での授業・学級の参観を核にした実践的なカリキュラムにより、免許を取得しつつ実践的な学習が可能です。他にはない全く新しいカリキュラムで、これから求められる「アクティブ・ラーニング」や「チーム学校」にも対応できるような授業づくりや生徒指導の力を培うことができます。